

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターひめやま（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18 (回答者数)	17
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多職種の有資格者が子どもの特性を理解に努めており、質の高い支援を提供できる。	・保育士や特別支援教諭、作業療法士、理学療法士、教員免許保持者、福祉経験者の職員全員で支援内容を振り返り、支援方法を検討しながら療育を実施している。 ・各自個別や集団で研修を受けている。	・有資格者をさらに増やしていき、様々な視点を支援に反映できるようにする。 ・さらに具体的に障がい特性についてや支援方法についての研修を受講していく。
2	・適宜、専門医や専門職等の職員が保護者の相談や面談を行い、保護者の支援を行うことができる。	・保護者からの相談や希望があれば、その都度面談などの場を設け、丁寧にお話をお聞きしている。	・保護者にその都度丁寧な会話や説明を心がけ、信頼関係を築けるように努めていく。
3	・避難訓練などを隣接の認定こども園と連携し、月に一回実施し、安心安全な運営に取り組んでいる。不審者、地震、火事など課題別にテーマを設定している。	・閉鎖的にならないように、支援の利用者も幼稚園の利用者も共生できる取り組みをしている。	・行事の取組をリアルタイムで保護者に伝えているので、今後は大災害を見通し保護者への引き渡し訓練も実施していきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会の開催等、保護者同士の交流の機会や兄弟同士の交流の機会がない。	・開所したばかりのため、交流の場を設けられていない。	・交流の場や機会づくりを検討する。
2	・ペアレントトレーニングなどの家族支援プログラムが行われていない。	・開所したばかりのため、そのような場を設けられていない。	・支援プログラムの実施を検討する。
3	・地域の子どもや地域住民と一緒に活動するなど、地域に開かれた活動を行えていない。	・評議員会などは、地域の方に参加していただいているが、地域に開かれた活動等までは行えていない。	・地域に開かれた事業運営・活動にさらに努めていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センターひめやま（児童発達支援支援）

公表日 2025 年 2月 26日

利用児童数 7 年 2月 1日

回収数 14

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1				活動内容やお子さんの状況に合わせてスペースを確保する等して環境設定を心がけています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1		1	利用回数がまだまだ少なく本人がわかるかがわかっていない。	人数やお子さんの状態に合わせて部屋をわける等して、子どもが安心して過ごし遊べる環境設定を心がけています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1			利用し始めて日が浅いですが、子どもの特性をよく理解してくださっているのを感じます。	引き続き情報の共有を図っていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1				毎回目的やねらいをもって、お子さんの状態に合わせて活動プログラムを考えています
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	14					
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	1	1	4		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12		1	1	専門医の相談を通してアドバイスをもらうことができよかったです	ご希望に応じて随時児童発達支援管理責任者や児童精神科医との面談や相談を行っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1	4	5	最近利用を始めたので知らない。	今後そのような機会を設けることを検討し努めていきます。	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14				心配事があるとすぐに相談に乗ってくださり心強いです。	引き続き努力します。Dr.相談も受け付けていますのでご連絡ください。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12		1	1	アプリを通して活動の姿や内容が送信されておりとてもわかりやすかった。	日々の活動の様子や連絡事項はアプリを使って発信しています。センター通信も発行しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13			1		契約時に個人情報の取り扱いについてご説明し、お子さんごとに確認し、同意書をいただいています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10			4		各種マニュアルを策定し、保護者の方が閲覧できるようにしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			4		月に一度避難訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12			2		保護者の方への周知に努めています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13			1	発熱時、連絡ありがとうございました。保育所にも連絡をしていただきました。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	1		1		お子さんが安心感をもって過ごせるように、環境を整えています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	1		1	その日の機嫌によって「えー行くの？」という日もありますが、行ったら楽しいようです。	お子さんが楽しみながら力をつけられるように、好きな遊びや活動を入れて取り組んでいます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14					

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援センターひめやま（児童発達支援）				公表日	2025 年 2月 26日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	人数によって学年別で保育を進めるなどしている。	現在36名程度までの広さを担保しているが、最大30人となるともう少し広いスペースか、もう1つ部屋が追加できるといいと感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	子ども1～2人に職員が1人ついているので適切と感じる。	不足を感じる。 増えくると、その都度必要だと感じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・スロープや多目的トイレを設置し車いすの方も利用できるようにしている。 ・カレンダーの数字を大きくしたり、活動の見通しが持てるような掲示物がある。	開所して3ヶ月試行錯誤しながら環境を整えている。これからさらに改善していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・活動や時間に合わせて（応じて）話しあいをし、仕切りを使う等工夫している。 ・毎日清掃がいきとどいている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・スヌーズレンルームを活用している。 ・子どもが休める空間（部屋）がある。 ・遊具の部屋、広く使える部屋、落ち着ける場たくさんある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2	・随時話し合いをしたり、職員全体の会議も実施している。 ・職員同士よく連絡がとれていると感じる。	広くとは感じない。 →これから体制を整えていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		今回初めて保護者評価を行った。 今後業務改善につなげていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・随時話し合ったり、新しいやり方を取り入れたりしている。毎日療育後に職員で振り返りを行い意見や疑問点等を出し合っている。 ・モニタリングなどで連絡を取るようになっている。	毎日の振り返りのほかに全体ミーティング等を行いながら、改善につなげていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	/	/	初年度のため未実施。 R7年2～3月に実施予定。	R7年3月に初回実施予定。 評価結果を業務改善につなげていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	研修はそれぞれ積極的に参加している。	・障がいの特性についてや支援方法についての研修に参加したい。 ・研修する機会を探す。 ・もっと研修を受けたい。 ・ASDやADHDの特性、強度行動障がいの基礎知識を学ぶ必要を感じる。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	計画的に支援プログラムを作成している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	1	アセスメントシートを活用して計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	2	随時情報共有・交換を行っている。	今後さらに改善していく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2	個人個人の支援のあり方を共通理解できるよう会議が行われている。	今後さらに改善していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	毎日の保管用ファイルに状況が分かるものを綴じてある。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2	職員同士意見を出し合いながら行っている。	今後さらに改善していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	子どもたちが楽しめるような活動を、本等を使って学び、毎日考えられている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	2		今後さらに改善していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	・主で活動を進める職員、補助で入る職員、個別で子どもにつく職員等担当を決めている。 ・職員間の連携はとてもできているように感じる。	今後さらに個や小集団での対応について改善していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	打ち合わせ等に参加できない時は必ず、気づいた点等を共有している。また、業務日誌、日案、研修報告書等を作成しているため休み明けの人にも伝えられるシステムを構築している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	・個別の連絡帳や業務日誌の記入と写真の活用をしている。 ・記録は毎日写真付きでとっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	定期的に行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		できていると感じる。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		病院との連携を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		・センター内、園内で行っている ・綿密に情報共有、相互理解をしている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	図っている。年中から年長にかけて共有している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	4	3		今後改善していく
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6	1	・医師への相談やPT・OTの訓練の様子の見学等を行っている。 ・専門的な助言を受けられる機会があり、とても勉強になっている。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	7		・子育て会議には何度か参加している。 ・自立支援部会に参加している。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	/	/		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7		・併設園の子どもの関わりがあり、行事にも積極的に参加している。 ・併設のこども園との交流を密に行っている。 ・幼稚園の行事には積極的に参加している	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・随時相談を受けたり、利用日には連絡帳で発信したりしている。 ・連絡ツールを使ったり送迎時を利用するなどして伝えている。 ・毎日の連絡ツールで保護者に伝えたり、センター内で話し合いをすることもある	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	・併設のこども園と情報共有して行っている。 ・保護者にも全員ではないが適宜個別で行っている。	今後さらに改善していく。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に実施している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		できていると感じる。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		・保護者に読み上げて確認している。 ・相談事業所とも共有している。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		悩みなどの相談がある際、面談をするなど話し合いの機会を設けている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7		これから増やしていく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		対応できている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	2	・手紙をファイルに入れてもち帰るようにしている。 ・センター通信を発行している。 ・アプリを使って日々の連絡や予定を発信している。	ホームページを今作成している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		鍵付きの書庫に入れて保管している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		一人ひとりにあった伝達の仕方を工夫して考えている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	学校評議員会、学校評価委員会を開催し、地域の方が参加している。	・これから行事を増やしていく ・まだできていない
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各種マニュアルを作成している。 月に1回避難訓練を行っている。
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		月に1回避難訓練を行っている。	
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		保護者に対応について聞いたり、通っている保育園と情報共有をしたりして、確認し周知している。	
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		給食があるので事前に確認し、アレルギーのある人は医師の指示書に基づき対応している。	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		バス等を含め、幼稚園と連携し行っている。	
50		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	けがなどがあつた際もけがにながらうな出来事も職員同士共有し合っている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	2	研修会に積極的に参加し対応できるようにしている。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1	契約時に説明し、同意を得ている。		